



## 医療スタッフのページ

### 放射線科からのお知らせ

#### 最新鋭MR装置

昨年11月新病棟完成と同時に、最新鋭MR装置が2台導入され、順調に稼働しております。

当院の新MR装置も、これまでのIBM R装置と比べ、非常に撮影時間が短くなり、息を止めて検査する事も可能な撮影法が増えました。これまで呼吸により動くため苦手だった、胸部や腹部の画像もずいぶん綺麗に撮影できます。

また新しい撮影技術もいくつか装備され、これまで以上に、体の中をいろいろな技術で画像化できるようになりました。数センチの小さなものも綺麗に撮影できます。

残念ながら撮影時の大きな音は、あまり改善されていません。検査時には、狭いトンネルによる圧迫感と、大きな撮影音だけはご辛抱願います。

#### 最新血管撮影装置

当院の血管撮影室は、二部屋あり体のすべての血管を異なる方向(正面・側面)から撮影し三次元の映像が作成出来る装置と、最新鋭の循環器専用装置(心臓検査)が設置されています。

血管撮影と聞くと、痛くて危険と思われると思います。たしかに間違いではありません。病気の診断のための血管撮影であれば、当院の最新鋭CT(64列CT:最近話題になっている心臓の撮影もできる装置)で十分な画像が得られるようになりました。

ではなぜそんな検査室が必要なのでしょう。

最近の血管撮影室では、診断の為に検査と言うよりは、血管内治療(手術)が主に実施されているからです。その治療は、脳外科・循環器・消化器・泌尿器・婦人科・放射線科などほぼすべての診療科で行われるようになってきています。治療内容についての問い合わせに関しては、各診療科、放射線科にお問い合わせください。

今回紹介したのは、MR 血管(アンギオ)撮影室ですが、ろうさい病院放射線科の殆どの検査室は現在日本(世界)の最高レベルの装置が導入されています。

これほど有能な装置を備えている病院は、名古屋ではそれ程多くありません。

皆さん、是非利用してください。

